

# 平成31年度 武道部（空手道班）の指導方針等について

平成31年4月25日

## 1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	橋本 拓興			
副顧問	保坂 隆史			
副顧問				

## 2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
大会に出場し、勝ちあがれるレベルを目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
区民大会等に出場し、地域との交流を深めるほか、高体連公式大会運営に協力する。

## 3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、週2回から始まり、段階的に週4日間に増やしてゆく。今後、生徒のレベル向上、モチベーションに応じて、週5日、平日2時間を目指す。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1～2回程度、競技力を高めるため他校と合同練習を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
空手を通じて礼儀作法を学び、挨拶、正しい言葉遣い等他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
礼に始まり、礼に終わる指導を通じて、相手を敬い、謙虚に学ぶ姿勢を教員が実践するとともに、生徒にその姿勢を伝える。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
競技の内容上、特に厳しく戒める。暴力行為があった場合は、内容によっては退部、部全体の活動停止・廃部もありえることを、日ごろから生徒に伝え、戒める。
- (3) 外部指導員の活用  
レベルの向上に応じて、今後活用も視野に入れる。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。組み手競技の練習は、顧問がいない場合は自主練習を禁止とする。

## 5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	東京都総合体育大会空手道競技会 兼 関東高等学校空手道大会東京都予選会（個人）見学
	5	合同練習
	6	全国高等学校総合体育大会空手道競技東京都予選会手伝い
	7	合同練習
	8	合同合宿
2 学期	9	昇級・昇段審査会
	10	合同練習 杉並区空手道競技大会参加
	26日	東京都総合体育大会空手道大会秋季新人大会 兼 関東高等学校空手道選抜大会東京都予選会（個人）
	11 4日	東京都総合体育大会空手道大会秋季新人大会 兼 関東高等学校空手道選抜大会東京都予選会（団体）
12	合同練習1・2 全日本空手道選手権大会参加協力	
3 学期	1	合同練習
	2	合同練習
	3 16日	昇級・昇段審査会 年間のまとめ

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

## 6 休養日 月曜日